

薬学部 薬学科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

青森大学薬学部は、地域の薬剤師を養成することを目的とした6年制の学部です。従って、薬剤師として必要な資質を得るために必要な知識、技能及び倫理観を身に付けさせることが使命です。その使命を理解し、必要となる基礎力を有し、薬学を学ぶ強い意志を持つ学生の入学を求めます。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選抜は、高等学校又は中等教育学校を卒業した者に限らず、帰国生徒や社会人、編入学、留学生、多様な背景を持った者など、さまざまな個性、能力等を有する人々を受け入れることができるよう、入学者選抜区分に沿った多様な選抜方法を用意して行います。

【薬学部が求める学生像】 次の①～⑤のような学生を求めています

- ① サイエンスを中心に高等学校の教育課程を幅広く修得している人、または同等の学力を有すると認められる人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 自ら学ぼうとする意志を持っている人
- ④ 人への思いやりを持ち、多様な人々とコミュニケーションを取ろうとする態度が身に付いている人
- ⑤ 薬の専門家として、他者と協働して、地域社会に役立ちたいという志を持っている人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・薬剤師として必要な基礎的な科学力を培うために、理系科目のみならず語学など文系科目全般を修得し、総合的な学力を身につけてください。
- ・様々な問題を発見する力や関連する情報を収集、分析する力、これらを用いて、問題を解決する力を養うために、身近な問題や社会の動きについて常に関心を持ち、考えることで、自ら継続して学ぶ意志を磨いてください。
- ・他者と協働して地域社会に役立つために、ボランティアや課外活動を通して、思いやりやコミュニケーションを身につけてください。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法：「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接（口頭試験含む）」「プレゼンテーション」「小論文」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味、コミュニケーション能力など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価します。また、身近な問題に対し、自分の考えを論理的に説明し、発表する力も評価し、これらを総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

選抜方法：「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接（口頭試験含む）」「小論文」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味、コミュニケーション能力など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価します。また、身近な問題に対し、自分の考えを論理的に説明する力も評価し、これらを総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法：「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価し、総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

(1) 調査書

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」評価

評価要素：1) 知識・技能【A P ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」「出欠の記録」

2) 思考力・判断力・表現力【AP②】

「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」3)
主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【AP③④⑤】

「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

「備考」については「本学アドミッション・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

客観的な視点から、高等学校における教育課程の「習熟度」、「授業態度」、校内、校外での活動による「行動力」「地域社会への貢献度」を評価します。

※留学生選抜、社会人特別選抜及び編入学選抜では、調査書の代わりに成績証明書・卒業証明書などを用います。

(2) 大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

評価要素：志望理由やこれまでの経験による記述により、薬学に対する理解や考え方、興味、将来の夢などの「薬学に対する意欲」および「自主的に継続して学ぶ力」を評価します。

(3) 推薦書

選抜方法：「学校推薦型選抜」

評価要素：第三者視点から、高等学校における教育課程の「習熟度」「授業態度」、校内、校外での活動による「行動力」「地域社会への貢献度」を評価します。

(4) 面接（口頭試験含む）

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

評価要素：「自主的に継続して学ぶ力」「コミュニケーション能力」、薬学に対する理解や考え方、興味、将来の夢などの「薬学に対する意欲」「口頭での質問に対する応答する力」を評価します。

(5) プレゼンテーション

選抜方法：「総合型選抜」

評価要素：身近な問題について、「自ら考える力」「理論的に説明する力」「関連する質問に応答する力」を評価します。

(6) 小論文

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

評価要素：身近な問題について、「自ら考える力」「理論的に説明する力」を評価します。

(7) 学力検査

選抜方法：「一般選抜」

評価要素：一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜ともに、教科「外国語、理科、数学、情報」より高等学校の教育課程終了レベルの「知識」や「思考力」を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

薬学部が求める学生像や学習の取組に基づき、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価するという観点から、下記の入学者選抜区分ごとの評価比重に基づいて選抜します。

入学者選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
	(①)	(②)	(③④⑤)
総合型選抜	○	◎	○
学校推薦型選抜	○	○	◎
一般選抜	◎	△	◎

注1) ①～⑤は薬学部が求める学生像との対応を示しています。

注2) 重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

注3) 各入学者選抜区分において、多様な選抜方法を設けています。詳細は入学者選抜要項をご覧ください。